

今後のまちづくりについて

■ まちの課題の変化

【課題１】市外の人々にとって訪れてみたいと思われるまちの魅力の向上

長岡宮跡周辺に点在する歴史・文化資源を結ぶ観光・周遊ルートやトイレ、休憩所の整備を行ったことにより、道路利用者の安全性が確保できたとともに、来訪者などの回遊性の向上が図られた。また、観光マップの作成や戦略的広報活動など、まちの魅力を発信し、来訪者を誘客したことにより、観光客などの増加による交流の促進が図られ、まちの魅力の向上につながった。

【課題２】地域資源の観光や景観などの面で十分に活用したまちの魅力の向上

長岡宮跡周辺に点在する歴史・文化資源を結ぶ観光・周遊ルートの整備や、常夜燈などをわかりやすい場所に移設したことにより、楽しく安全に、周遊できる空間を創出できたことから、本市が誇る地域資源を身近に感じれるようになったため、まちの魅力の向上につながった。

■ 今後のまちづくり方策

方 策 １ まちの魅力の発信

来訪者のさらなる誘客を目指し、広報 PR に取り組む。

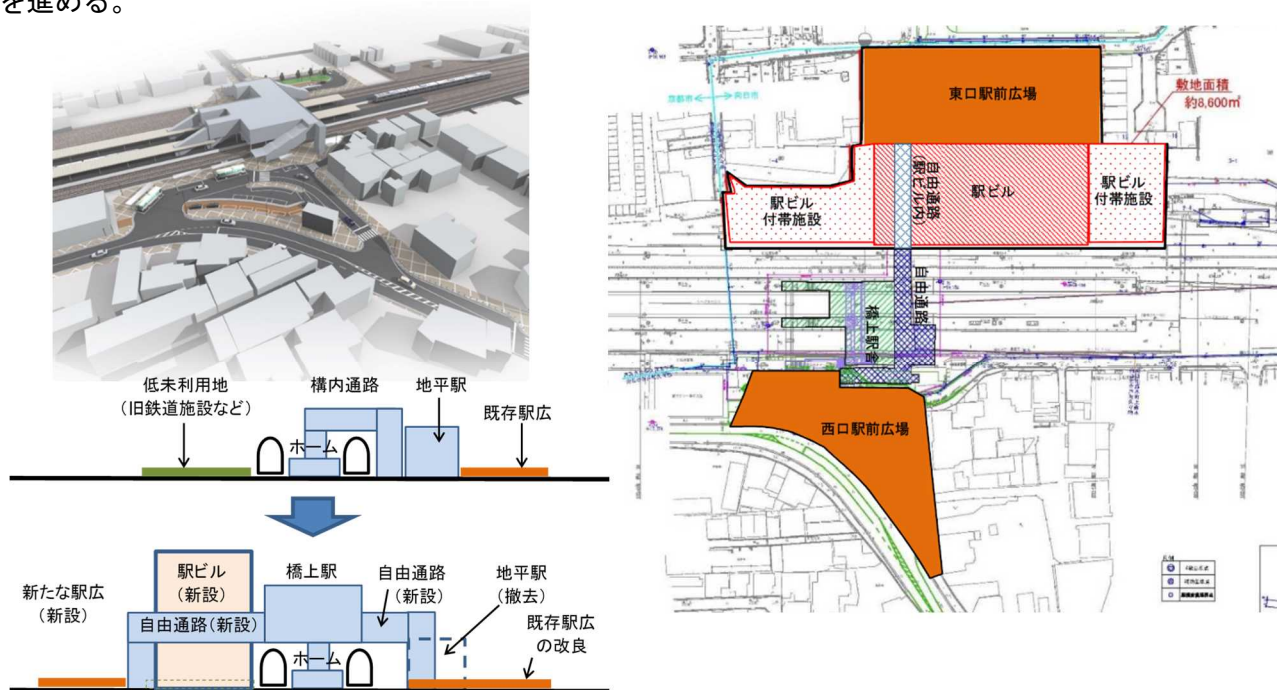


まちづくりへの理解を深め、まちの魅力を積極的に発信していただけるよう、まちづくりを担う人材・団体の育成に取り組む。



方 策 2 交通結節点の機能の充実による、にぎわいと活力あるまちづくり

JR 向日町駅は西側しか改札口がないことから、利用者の利便性のみならず、鉄道による地域分断が均衡なまちづくりに支障を及ぼしている。これらの地域の課題解消を目的に、駅東西をつなぐ自由通路を整備するとともに、駅前広場の整備を行い、東側の改札口の開設と周辺のまちづくりを進める。



※現時点での整備イメージです。

農業、商工業の活性化による観光振興を図るため、JR 向日町駅から徒歩5分という立地において、観光案内や地元野菜・お土産品の販売などの機能を有した施設の整備を行う。

